

レジメンスケジュール

診療科	血液内科
適応	再発・難治びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
レジメン	血内DLBCL GDP療法

申請・改訂日	2022年8月
備考	

クール関連	
	2~6クール施行

使用した臨床データ	
	申請書参照

全クール																						
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day4	...	day8	day21			
①	○	デキサメタゾン注	33mg	メイン	15分	デキサメタゾン内服(40mg/day)への切り替えも可能	○	○	○	○		6.6mg										
		パロノセトロン注	0.75mg				○															
		生理食塩液	50mL				○	○	○	○	○											
		アプレピタント					内服		シスプラチン投与1~1.5時間前	125mg	80mg	80mg										
②	○	ゲムシタピン	1000mg/m2	メイン	30分		○					○										
		生理食塩液	100mL																			
③		硫酸マグネシウム	8mEq	メイン	60分	ショートハイドレーション①	○															
		KCL	10mEq				○															
		生理食塩液	500mL				○															
④		20%マンニトール	300mL	メイン	30分		○															
⑤	○	シスプラチン	75mg/m2	メイン	60分	total500mL	○															
		生理食塩液	500mL																			
⑥		硫酸マグネシウム	8mEq	メイン	60分	ショートハイドレーション②	○															
		KCL	10mEq				○															
		生理食塩液	500mL				○															
⑦		生理食塩液	50mL	全開		フラッシュ用						○										

終了

投与開始基準

day1	好中球数1500/mm ³ 以上、血小板数10万/mm ³ 以上、血清クレアチニン値1.58mg/dL未満、AST/ALT基準値の2.5倍未満、総ビリルビン基準値の1.5倍未満であること。 好中球数が1000/mm ³ 未満または血小板数が10万/mm ³ 未満である場合は治療を1週間延期すること。
day8とday15	好中球数500/mm ³ 以上、血小板数5万/mm ³ 以上であること。

減量・中止基準

副作用	程度	処置
骨髄抑制	day8の好中球数が500/mm ³ 未満または血小板数が5万/mm ³ 未満の場合	day8のGEMを中止するか、day15の好中球数500/mm ³ 以上かつ血小板数5万/mm ³ 以上でday15に投与する。
	day8の好中球数が500～900/mm ³ の場合	G-CSFを開始してGEMを投与するか、GEMを25%減量し投与する。
	day8の血小板数が5万～9万9千/mm ³ の場合	GEMを25%減量し投与する。
非血液毒性	G3以上	CDDPとGEMを25%減量し投与する。
腎機能障害	血清クレアチニン値が1.58～2.25mg/dLの場合	CDDPを25%減量し投与する。
	血清クレアチニン値が2.26mg/dL以上の場合	投与中止する。
聴覚障害	高音が聞こえにくい、耳鳴りが出現した場合	CDDP中止を検討する。
その他	リンパ腫の増大、新出病変の出現、間質性肺炎疑い	投与中止する。